

## 桐生市・みどり市認知症ケアパス作成プロジェクト 第2回全体会議議事録

日 時：令和6年8月20日（火）19:00～21:20

会 場：桐生メディカルセンター地下講堂

<参加者> 18名（別紙参加者名簿参照）

<司会> 前川先生

### 1 挨拶：高橋先生

今回全体会議2回目、間にコア会議が2回あり、だいぶ議論が進み、成果が出来上がってきているので、議論を深めていただければと思います。

### 2 配布資料確認：前川先生

### 3 議事

(1) 認知症ケアパス A4 版素案について（資料3）…小川

※素案と関連するため、社会資源集についての説明

ガイドブックを補完するものとして今後作成していく（現状は項目が決まっている程度）。

ガイドブック：市民配布に向けてうすく作成。

社会資源集：医療関係者からの意見（ガイドブックの中に資源が載っていて業務に活用できるもの）をもとに、桐生・みどり地区の医療、福祉の資源を盛り込んでいく。

※①項目及び説明の文章については時間を要するため、先に②イメージカラーについて討論。

②イメージカラー：フォントや色合いを整えて提示したいため決めていきたい

・第2回コア会議でのご意見 → オレンジ・やさしいオレンジ・明るい黄色

コア会議に出席していない医療関係者の方からのご意見

Q. どういったところに使用するのか？

A. 全体に使うか部分的に使うかははっきり決まっていないが、全体を見た時にテーマカラーがわかるようにメインで使っていくもの。

・認知症 = オレンジ色 … 安心感あり、やわらかいイメージ

・優しいイメージというと若草色 … 目に優しい、落ち着く感じ

・やさしいオレンジの色見本は？

・ビタミンカラー・暖色系のやわらかいイメージの色

◎若草色（うすいグリーン）+ やさしいオレンジ色を基調に（ポイントでオレンジ色を使用）色合いも入れて作成してみる。（色の修正は難しくなくできる）

- ① 項目及び説明の文章：ページごとに確認。コアメンバー以外のみなさまのご意見をいただく。
- ・当初の素案から検討を重ねより洗練されてきた。写真やイラストでイメージは変わるが、文章や内容について合意形成を図る。

## 表紙

タイトル…認知症ケアパスはわかりにくいいため、ガイドブックと表記

メインタイトル…メッセージ性のあるものにしたい

目次…フレームははずす予定、表題と連動させるため、内容が変更となったら目次も変更となる

- ・タイトルはどう決めるのか？
- ・メンバーのみなさんからご意見をもらうのはどうか。これは何だろうな？と思えるものがよいのでは？

◎ひとり1案以上だしていただき、第3回会議で決定する

## 認知症の基礎知識 P1-2

見開きで確認ください。ページ数字の枠の色やデザインも考慮していく。

それぞれのフレームは変更もしくは消す予定

グラフと連動する形で配置している

病気の説明は割愛し、認知症それぞれの症状のみに焦点をあてている

診察時に使えるものになっているかご意見をいただきたい

- ・医師の立場から…詳しい記載は理解してもらえないのでこのくらいがよい。説明は診察で行うので、簡単で読みやすいものがよいかと思う  
家族の心配することは周辺症状が多いので、中核症状と周辺症状の説明を入れた方がよいのではないか
- ・背景の円グラフについて  
割合を入れた方が説得力あり、円グラフの説明と背景は分けたほうがよい  
グラフの色と説明を合わせるとイメージできるのではないか  
視覚的にも頻度はわかったほうがよい

◎第一に見やすさ

グラフを入れる際は割合も入れる

色をあわせてグラフのどこを表現しているのかがわかりやすいようにする

◎家族からの相談が多い「周辺症状」「中核症状」を入れる

◎認知症ともの忘れの違いは入れた方がよい

◎イラストは「イラストやさん」または「AI」で

## チェックリスト P3

桐生・みどり地区のガイドブックのイメージに近いもの

エビデンスのある「認知症の人と家族の会」のものを採用させていただきたい。改変はNG

□内専門家に相談してみるが、次ページにつながるよう連動している。

- ・家族がつくった「認知症」早期発見のめやす の「家族がつくった」は意味がわかりにくいのでいらないのでは？

◎「認知症」早期発見のめやす に変更

◎専門家に相談してみることがよいでしょう → 相談してみるとよいでしょう に変更

#### フローチャート P4

専門職の連携度合ではなく、市民、本人、家族の視点で相談の流れを示している  
どこかに連絡がいけば専門職につながる、というような意味合いで考えた

各文面の修正点の確認

- ・上段 □内は簡条書きの方がよい
  - ・上段に市役所、下段に地域包括支援センターの位置は交換した方がよいのでは？  
→ 上段に地域包括支援センター、下段に市役所へ交換
  - ・地域包括支援センター → 認知症を含む福祉に関する → 認知症を含む介護・福祉に関する
  - ・認知症疾患医療センター日新病院 → 若年性認知症コーディネーターと電話番号を抜く  
認知症サポート医による診断 → 認知症の診断  
若年性認知症コーディネーターの記載については内容について認知症疾患医療センター長と相談し決定する
  - ・認知症疾患医療センターへのルートについての記載  
→上の3項目と同様に考えて直接連絡する可能性がある  
直接行くルートはなく、主治医や誰かからの紹介が必要であるという文面を入れる
- ◎「まずは、主治医へ相談を」「かかりつけ医、主治医のいない場合は地域包括支援センターへ相談を」を入れる

#### 早期診断・早期受診のススメ P5

- ・医師より：これをきっかけにしてほしい  
家族だけの相談も実際あるのでいいと思う
- ◎「早期」かたい印象なのでやわらかい雰囲気になるような言葉で（早めに などがいいかな）
- ◎診断は医師が行うので、早期受診のススメにする

#### 受診のポイント P6

- ・欄がたくさんなので書きにくい印象。全部を埋めるのは難しい
- ・日常生活がわかるので、医師としてはありがたい
- ・年月日 → いつ頃からなのかをざっくりな記載でよいのではないか
- ・逆パターンで考えると、診察した医師が渡して書いてもらうにはよいかもしれない
- ・「症状」の言葉が気になるので、家族がわかる言葉になるとわかりやすい  
(症状や変化など → 本人目線の言葉で、困っていること、心配なこと、不安なこと等)
- ・フリー記述欄もなにを書いたら良いのかわからないかもしれない

- ・書くのが苦手な人は記入例があると書きやすい

◎問いかけるような感じの言葉を選定して調整する

◎欄はいくつか残して自由欄を大きくする（半分くらいが自由欄）

**認知症の症状とまわりの人が心がけること** P9-10 千代田区認知症ケアパス参照

疲弊している家族へ向けてのメッセージ

- ・上段  内はポジティブな表現に

失敗をすると不安になったりすることもあります → 不安を感じることもあると思いますが  
関わり方を少しだけ変えて → 関わり方次第で自分らしく生きていくことができます  
まわりの対応次第で自分らしい生き方ができます

- ・表現に気をつける（願います → こういう風にするとこうなりますという書き方  
当事者の人が読んだ時、まわりの人に頼ればいいと思えるような書き方になるとよい）
- ・ネガティブな印象 イメージをマイナスからプラスになるように
- ・とがめられたり、怒られたりが一番つらいと思われるので、「家族がとがめたり、怒ることのないよう、やさしく見守ってください」という文面をいれたらどうか
- ・構図を考えると、P11の接し方のポイントをP10に入れた方が見やすいのでは？

◎左側P10に心がけること、右側P11に接し方のポイントに再考する

→ページの構成上コア会議で再検討する

**認知症の人への接し方のポイント** P11 認知症サポーター養成講座テキストより抜粋

- ・次回コア会議へ持ち越し

**予防について** P12 水戸市認知症ケアパス参照し、桐生・みどりの資源をいれている

- ・予防の意味合いについて

認知症になる前のものか、認知症になってからのものか、進行を遅らせるためのものなのか  
→再考し、認知症認定看護師にご意見をいただき、予防の言葉の選定は全体的に見直し、再検討  
事項とする

**桐生市・みどり市の認知症について相談窓口一覧** P13-14

- ・どの相談窓口にご相談いただいても大丈夫です → 最寄りの窓口へご相談へ変更
- ・私たちには守秘義務がありますはいらないのではないかと → お気軽にご相談くださいに変更
- ・みどモス、キノピーのイラスト使用はOK
- ・両市担当地区の確認
- ・桐生市地域包括支援センター〇〇の記載は4月からとする

**裏表紙**

- ・ぐんま希望大使ご本人のメッセージをもらいたい
- ・本人の顔を掲載してもよいかを本人に確認する

## 認知症ケアパス P7-8 ガイドブックの中核になるもの

サービス提供の流れ → サービス早見表 としたけどどんな表現がよいか

「認知症ケアパスとは」の文面について

全てのサービスの掲載はできないので、詳細は社会資源集に掲載し、QRコードをつけて市民の方も見られるようにする

関係各所に配布の際は、ガイドブックと社会資源集をセットで渡すことを考えている

横軸（分類）について…「見やすさ」を考慮し、サービスの多くなる初期に半ページ使っている

縦軸（項目）について…正式名称ではなく、代表的なもの（こんな集まりがあるよ的なもの）を掲載する、具体的なものは社会資源集で補完

- ・「介護者・家族」介護者はわかりにくい（要介護、ヘルパーと混同してしまう）「家族」でよい
- ・「その他」運転について（相談窓口など）を載せるのはどうか → 高齢者講習との関わりもありデリケートな問題なので社会資源集へ掲載する
- ・「医療」かかりつけ医は初期のみの関わりにみえる → かかりつけ医は最後まで関わるので視覚的に見やすいように再考する  
→ 初期から関わるものと進行（時期）によって関わるものをわけてみるとよいのではないか  
→ 「社会参加」「見守り」「医療」「家族」の記載・デザインについて再考する
- ・社会資源集について…次回コア会議で項目の提示、第3回全体会議で概要くらいまで作成し、イメージできるもの提示の予定

### ③その他

特になし

## 4 その他

- ・認知症ケアパス 別冊：社会資源集について

### ○第3回コア会議について

日時：令和6年9月12日（木）14:00～

会場：桐生市総合福祉センター

文責 田村